

こども

子供のインターネットバイブル

あんない

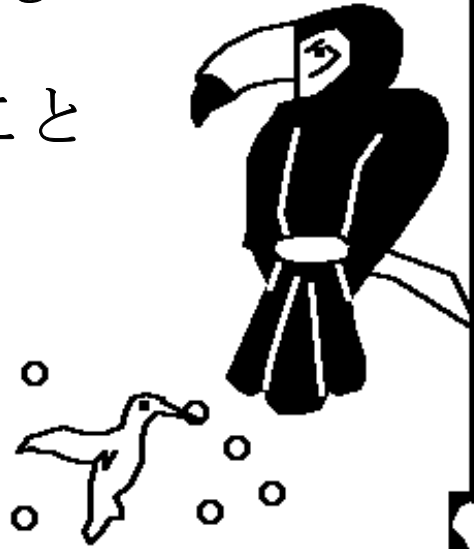
案内いたします

かみ

神さまが、すべてのもの

とき

をつくられた時のこと



ぶん

文: Edward Hughes

ほんやくしゃ

翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

え

絵: Byron Unger; Lazarus

しゅつばんしゃ

出版社: Bob Davies; Tammy S.

60話の第1話

www.M1914.org

Bible for Children, PO Box 3, Winnipeg, MB R3C 2G1 Canada

まよ

たにん

う

かぞ

また

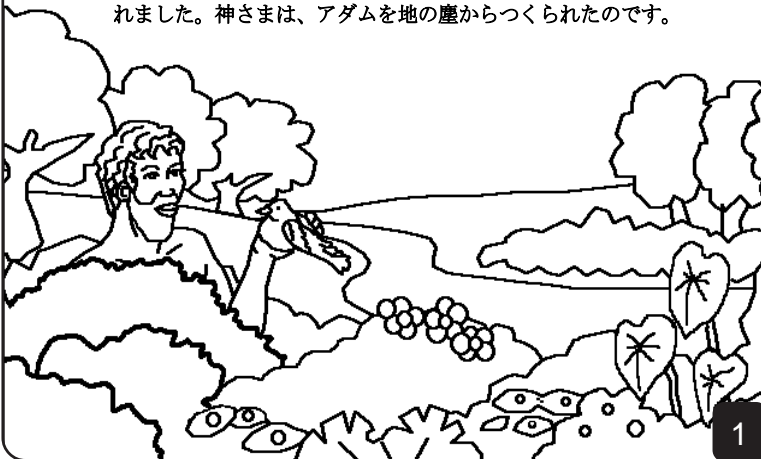
まよ

許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。

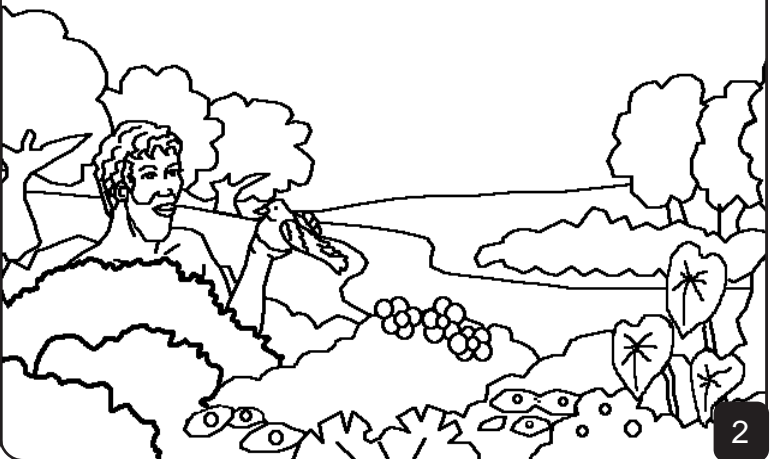
日本語

Japanese

いっただれが、私たちをつくったのだろう。聖書、つまり神さまのことばは、
 私たち人類が どのようにして 始まったかを教えてくれています。ずっとずつ
 と昔のことです。神さまは、いちばん初めの人をつくり、アダムと名前をつけら
 れました。神さまは、アダムを地の塵からつくられたのです。



それから、アダムに息を吹きかけて命を与え、生かしてくださいました。ア
 ムは、自分がエデンの園と呼ばれる美しい庭に 置かれていることに気がつき
 ました。



神さまが、アダムをつくれる前のことでした。神さまは、すばらしいものでいっぱい満ちあふれている美しい世界をつくられたのです。神さまは、少しずつ、少しずつ、いろいろなものをつくっていかれました。小高い丘や広い草原、香りのいいお花や高い木々、キラキラした羽の小鳥たちやブンブン飛び回るみつばちさん、元気に泳ぎまわるくじらさんやズルズルはいまわるヘビさんたち。

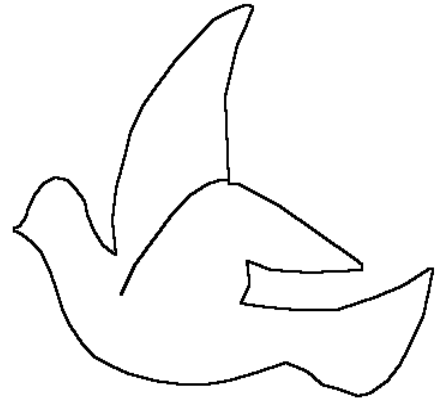


ほんとうに、そこにあるすべてのものみんな、神さまがつくられたのですよ。

3

いちばん初めの時、そうです。神さまが、まだ何にもつくられていなかった時のこと。神さまがいらっしゃる他は、ほんとうに何もなかったんです。光もなければ、水もない。上もなければ、下もない。昨日もなければ、今日もない。ただ、まだ何も始められてない神さまだけが、いらっしやいました。それからなのです。

神さまがつくりはじめられたのは、



4

初め 神さまは、天と地をつくられました。

5

その地は形もなく、何もありませんでした。

ただ、真っ暗な闇が、どこまでも

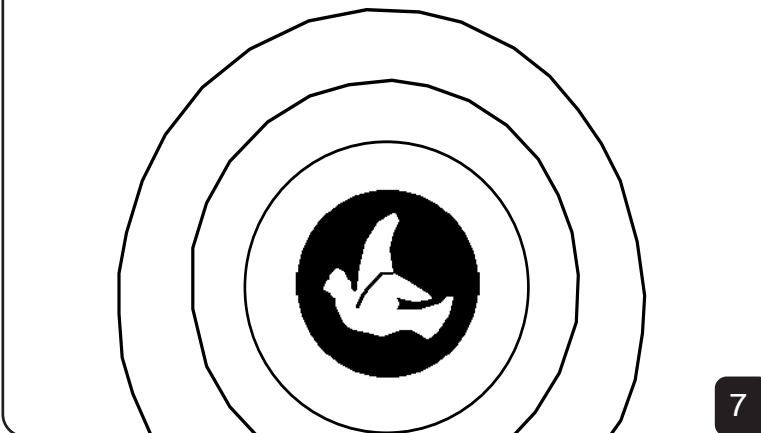
どこまでも果てしなくおおっていました。そこで

神さまは、口を開けられました。「光、あれ。」と。



6

すると、なんとまあ光が出てきたのです。神さまは、光を昼、闇を夜と名づけられました。こうして夕となり朝がやってきました。第一日目です。



7

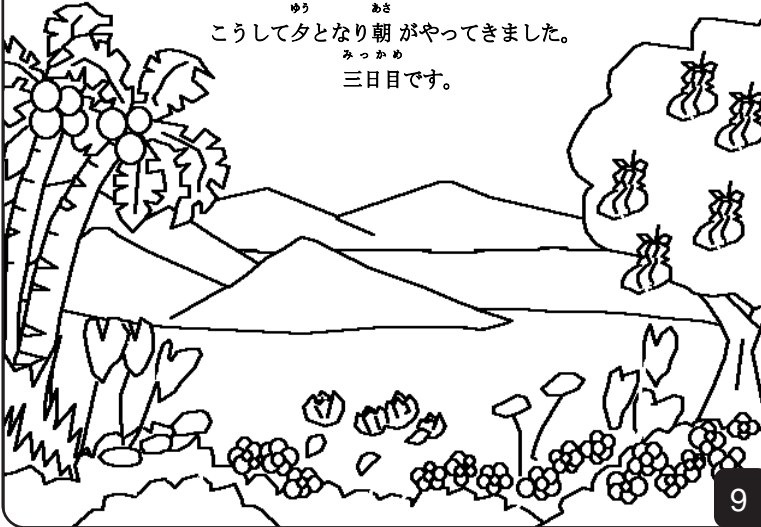
二日目、神さまは水を運んでこられました。それを大空のもとできちんと太平洋や海や湖に分けられ注がれたのです。三日目、神さまは言われました。「さあ、乾いた土地が現れるように。」と。そして そのようになりました。



8

また、神さまは命令されました。「草や花、そして低い木や高い木が 現れるように。」と。すると、そのようになりました。

こうして夕となり朝がやってきました。
三日目です。



9

それから 神さまは、太陽、月、数えきれないほどたくさん

の星をつくられました。こうして夕となり朝がやってきました。四日目です。



10

神さまが次に考えられていたことは、海の生き物や魚や鳥たちをつくることでした。

五日目、大きなメカジキや ちっちゃい

イワシのなかまたち、脚の長いダチ

ョウさんやいつも 幸せそうにさえずっているかわいいハチドリたちも

つくられました。たくさん魚たちが

水のなかでスイスイと泳ぎまわり、

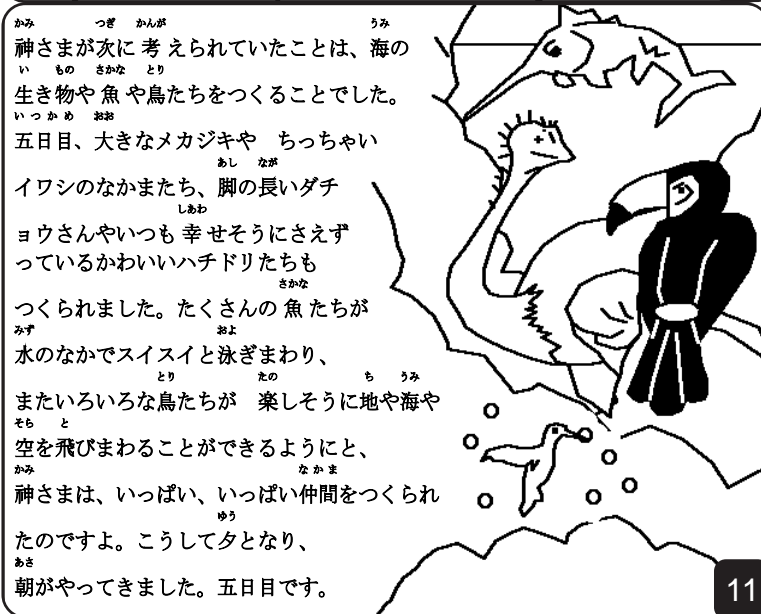
またいろいろな鳥たちが 楽しそうに地や海や

空を飛びまわることができるようにと、

神さまは、いっぱい、いっぱい仲間をつくら

れたのですよ。こうして夕となり、

朝がやってきました。五日目です。



11

そのあと、神さまはまた口を開かれ、こう言われました。「さあ、みんな生き物は

は どんどんこの地においで。わたしがつくろう。さあ、どんどんおいで。」こうして

いろいろな種類の動物や昆虫、はちゅう類もやってきました。ドシン、ドシンと地面を揺るがすゾウさん、いつも忙しそうにビーバーさんもいま

す。いたずら好きのサルさんや のそのソワニさんも。くねくねミミズさんと

ちょっと気取ったリスさんも。ひよろひよろしているキリンさんに、ゴロゴロの

どを鳴らすネコちゃんも。ほんとうに 神さまは、その日にあらゆる種類の生き

物をつくられたのでした。こうして夕となり 朝がやってきました。これが

六日目です。



12

さて、六日目のことです。神さまは、何か他のこともなさいましたよ。そう、何か特別のこと・・・。今はもう、人をつくるための準備が、すっかりできあがっていました。野には、食べ物が、そして彼に仕える動物たちもいました。

そこで、神さまは、言われました。「さあ、

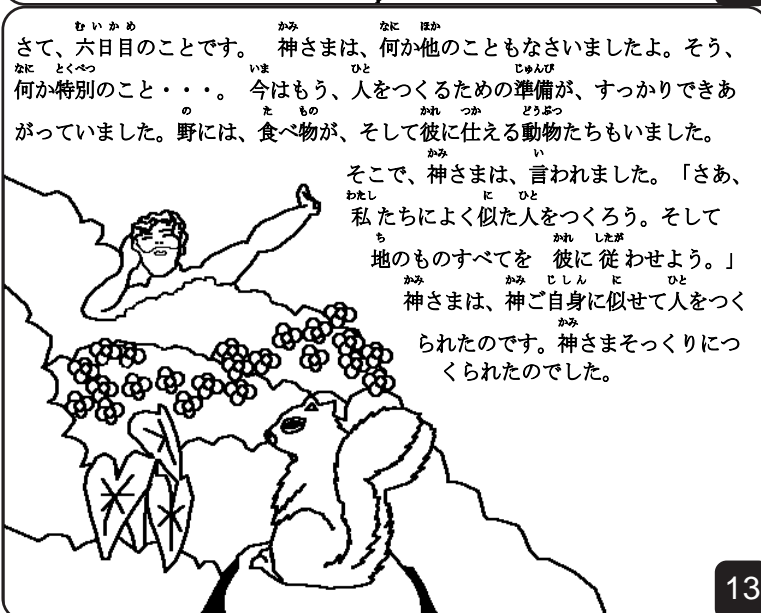
私たちによく似た人をつくろう。そして

地のものすべてを彼に従わせよう。」

神さまは、神ご自身に似せて人をつく

られたのです。神さまそっくりにつ

くられたのでした。



13

神さまは アダムに話されました。

「アダム、おまえは庭にあるものは、何でも食べていいん

だよ。でも、善と悪を教えてく

れる知識の木からだけは、食べ

てはいけない。もし おまえが

その木のものを食べると、必

ず死んでしまうんだよ。」



14

そしてまた、主なる神は言われました。「人が一人にいるのは、よくない。さびしいだろう。私は彼に仲間をつれてこよう。」神さまは、アダムのところに、小鳥たちや動物たちを呼びました。アダムは、かれらみんな

に、それぞれの名前をつけてあげました。そんなことができるなんて、アダムはきっと賢かったのでしょうね。けれど、これら鳥たちや動物たちの中には、アダムにぴったりの仲間はみつかりません。



15

そこで神さまはアダムを深い深い眠りの中につれて行かれました。そしてぐっすり眠っているアダムから、あばら骨を一本とってその骨から女の人をつくられたのです。神さまがつくられたその女の人は、アダムの仲間として本当にぴったりの人でした。



16

神さまは、六日間ですべてのものをつくられました。それから神さまは七日目を祝福なさって、その日を休みの日とされました。エデンの園では、アダムと彼の妻のエバは神さまに従いながら、ほんとうに幸せに暮らしました。神さまは、二人にとって主であり、養ってくださる父であり、そして友達でもあったのです。



17

神さまが、すべてのものをつくられた時のこと

神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

創世記 1 章 -2 章

あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。
詩篇 119:130

